

特集

家族、もう一つの物語

永井龍男 黒い御飯	7	島尾敏雄 子之吉の舌	54
牧野信一 父を売る子	11	幸田文 台所のおと	67
丹羽文雄 鮎	23	阪田寛夫 ロミオの父	92
平林たい子 鬼子母神	35	向田邦子 父の詫び状	103
木山捷平 春雨	42	増田みず子 一人家族	109
解説 家族は変容するのか 富岡幸一郎	122		

創作

最終回

くすぐり〈9〉

大道珠貴

135

昭和恋愛短編集④

抱きつきおばさん

佐藤洋二郎

143

恋の淵 恋冷めの淵

三咲光郎

149

夕化粧の香り

高屋風沙

159

ナイヴズ

南みや子

178

地図にない家

内田るみ

193

文科

スペイン語の勉強

神長倉伸義

128

芋の煮ところかし

井崎正敏

130

クラオンヌの歌

吉田正明

132

NPO法人日本翻訳家協会主催

第六十二回日本翻訳文化賞選評(原稿提供・日本翻訳家協会)

田中智行訳『新訳金瓶梅』上中下巻(鳥影社刊)

126

同人雑誌季評

思想と行動の狭間 越田秀男 277

混沌の意味 谷村順一 285

新連載

同人誌における異才・鬼才・天才たち〈1〉
第一回『玉置伸在』その1 河中郁男

266

言葉の中で音楽が鳴る〈3〉
連載 ゲーテ『ファウスト』 許光俊 204

私を魅了した銀幕のスターたち(洋画篇)〈4〉
ヴィットリオ・デ・シーカ／ジーナ・ロロブリジーダ 大鐘稔彦 211

海の詩学—三島由紀夫〈19〉

「文藝文化」と古典の季節(2) 鈴木ふさ子 227

—詩「かの花野の露けさ」・「菊」・「果実」、短編「玉刻春」

学界への窓 29

島尾敏雄『夢のかげを求めて—東欧紀行』と

「引越し」の関係について 石井洋詩 259

文藝季評 52

書かれたことの現実性 伊藤氏貴 263

道元「正法眼蔵」の宇宙と人間(二〇)

「現成公按」をめぐる 勝又浩 292

啓

勝又浩 124 松本徹 308

会員規約 310

今号の執筆者

編集後記 312

311